

## 沖縄市水道ビジョン用語解説（50音順）

※ 本文中に掲載している用語の解説文になります。

### あ

- 赤水（あかみず）
  - ・ 赤茶色に変色した水道水。  
給水管の腐食による鉄錆（てつさび）等が原因とされ、水道管の中を流れている水の速さや方向が変わったときなどに、古くなった水道管から流れる。
- 亜鉛メッキ鋼管（GP）（あえんめっきこうかん）
  - ・ 鋼管の一種。赤水の原因となるため、現在はあまり使用されない。
- アセットマネジメント（あせつとまねじめんと）
  - ・ 資産管理の事。  
中長期的財政収支に基づき施設の更新等を計画的に実行し、長期的な視点に立ち、水道施設のライフサイクル全体にわたって水道施設の管理運営を組織的に実践する活動を言う。

### え

- エコカー（えこカー）
  - ・ エコカーとは、環境への負荷が少ない自動車であり、ハイブリッドカー、電気自動車などのことを指す。  
ガソリンの消費量が少なく、その事に伴って二酸化炭素（CO2）や窒素酸化物（NOX）などの大気汚染物質の排出が少なくなり、資源枯渇の抑制にもつながることから、環境対策として導入が推進されている。
- LED照明（えるいーでいーしょうめい）
  - ・ 発光ダイオード（LED）を使用した照明器具のことであり、その使用そのものを指すこともある。  
従来の白熱電球や蛍光灯を用いる従来型照明器具と比べて、低消費電力で長寿命となるため、新しい照明として普及しつつある。

### お

- 沖縄県水道災害相互応援協定（おきなわけんすいどうさいがいそうごおうえんきょうてい）
  - ・ 県内の47水道事業者（上水道・簡易水道）が参加して結ばれた協定。  
被災時にライフラインである水道を早急復旧できるようにと、近隣や広域の水道事業者間等で応援協定が締結されています。

### か

- 渇水（かつすい）
  - ・ 雨が降らない、もしくは少ないことに起因として、水（水源）が涸れている。ないしはそうなりつつある状況を指す。

### き

- 基本料金（きほんりょうきん）
  - ・ 水道を利用できる状態で使用量に関係なく支払っていただく料金で、メーターの口径によって異なる。

## け

- 経年化（けいねんか）
  - ・ 相当年数を経過する事。  
管の場合、使用年数の経過とともに劣化し、漏水事故発生の危険が高くなるほか、赤水発生や出水不良の原因となる。

## こ

- 硬質塩化ビニル管（VP・HIVP）（こうしつえんかびにるかん）
  - ・ 耐久性・経済性に優れる。耐候性・耐熱性には難があり、それぞれ特化した種類もあるが、金属管に劣る。耐震管材ではない。  
RRロング継手の塩ビ管は「耐震管材」ではない。現在の検証結果では「地震動増幅が小さい地盤」において耐震適合性を有する、とされている。
- 国際協力機構（こくさいきょうりょくきこう）
  - ・ 独立行政法人国際協力機構法（平成14年法律第136号）に基づいて、2003年10月1日に設立された外務省所管の独立行政法人。  
政府開発援助（ODA）の実施機関の一つであり、開発途上地域等の経済及び社会の発展に寄与し、国際協力の促進に資することを目的としている。

## し

- JICA（じゃいか）
  - ・ 「国際協力機構」の項を参照。
- 従量料金（じゅうりょうりょうきん）
  - ・ 使用水量によって支払っていただく料金。  
沖縄市では、使用水量が増えるほど料金単価が高くなる逦増（ていぞう）制料金体系を採用しています。
- 樹脂管（じゅしかん）
  - ・ 「ポリエチレン」の項を参照。
- 受水槽（じゅすいそう）
  - ・ 給水装置からの水を直接入水するための水槽。
- 出水不良（しゅつすいふりょう）
  - ・ 給水管の老朽等によって管の状態が悪くなり、水の流れが悪くなっている状態。  
または給水管が細い場合、数箇所ですべて同時に水を使用して水の量が足りなくなり、十分に供給できていない状態。

## す

- ステンレス管（SUSP）（すてんれすかん）
  - ・ または、ステンレス鋼管。ステンレス鋼を使用した管のこと。  
錆びにくいですが、加工性及び経済性に難がある。

## せ

- 制限給水（せいげんきゅうすい）
  - ・ 水道の供給量を一時的に制限する措置。渇水等の水不足時に行う。

## た

- 耐震化 (たいしんか)
  - ・ 強い地震が発生しても倒壊や損壊が起きないように構造物を補強する事。
- 耐震管 (たいしんかん)
  - ・ 地震の際でも、継手の接合部分が離脱しない構造となっている、耐震性能に優れた管のこと。
- 耐震診断 (たいしんしんだん)
  - ・ 既存の建築物の構造的強度を調べ、想定される地震に対する安全性（耐震性）、受ける被害の程度を判断する行為。  
地震による破砕・倒壊を未然に防ぐため、その恐れの有無を把握する目的で行われる。
- 耐震適合性を有する管 (たいしんてきごうせいをゆうするかん)
  - ・ 耐震管以外でも、管路が布設された地盤の状況を勘察した際に耐震性があると評価できる管のこと。
- 耐用年数 (たいようねんすう)
  - ・ 「法定耐用年数」 の項を参照。
- 濁水 (だくすい)
  - ・ 泥などが混じり、綺麗でなくなった水の事。
- ダクタイル鋳鉄管 (A形・K形・NS形・GX形) (だくたいるちゅうてつかん)
  - ・ 水道本管に最も多く採用されている。従来のA形・K形に対し、耐震性に優れたNS形の評価が高く、次世代型のGX形も普及し始めている。NS形とGX形は耐震管材。  
(K形は「耐震管材」ではなく、現在の検証結果では「地震動増幅が小さい地盤」において耐震適合性を有する、とされている。)
- 太陽光発電 (たいようこうはつでん)
  - ・ 太陽光を、太陽電池を用いて直接的に電力に変換する発電方式である。ソーラー発電とも呼ぶ。  
再生可能エネルギーである太陽エネルギーの利用方法の1つである。
- 断水 (だんすい)
  - ・ 主に、何らかの原因で上水道の送水が停止する事を指す。  
少雨・枯渇による水の不足から停止される場合もあり、または異常気象によるものや、水質異常（取水場上流での汚染物質の流入など）によっても緊急的に取水制限される場合がある。

## ち

- 鋳鉄管 (ちゅうてつかん)
  - ・ 「ダクタイル鋳鉄」 の項を参照。
- 貯水槽 (ちよすいそう)
  - ・ 水を貯める施設・設備のこと。上水道用水のほか工業用水、防火用水などの用途がある水道法や自治体の条例により、貯水槽の点検や清掃、検査が規模の大小を問わず義務づけられている。
  - ・ 「受水槽」 の項を参照。

## て

### ○ 逦増制水道料金 (ていぞうせいすいどうりょうきん)

- ・ 沖縄市では、家庭用などの少量使用のお客さまの料金負担の高騰を抑えるため、使用水量が多くなるほど料金単価が高くなる逦増制料金体系を採用しています。

## と

### ○ 東部海浜開発計画 (とうぶかいひんかいはいつけいかく)

- ・ 昭和62年の「東部海浜地区埋立構想」から始まった沖縄市地域活性化を目標とした計画。泡瀬干潟沿岸の環境保全問題の解決の為、出島形式となった埋立地の土地利用計画となっている。  
平成23年現在では、地域活力の向上のため、沖縄市の最も優位な資源であるスポーツや文化芸能を最大限活用しようと、スポーツを中心とした商業や宿泊施設、海洋レジャーなどを展開する計画となっている。

## は

### ○ 配水管 (はいすいかん)

- ・ 配水池から水道水を配水する管。

### ○ 配水管網 (はいすいかんもう)

- ・ 網目状に配置された配水システムの事。

### ○ 配水池 (はいすいち)

- ・ 上水道の配水量を調整するために、一時蓄えておく池。  
標高の高い場所にあり、自然の落差を利用して配水する。

### ○ 配水ブロック (はいすいぶろっく)

- ・ 一定の範囲の配水区域を適当な広さに分割して管理すること。  
通常、一つの配水池と配水本管で構成される。

### ○ 配水ブロック検針システム (はいすいぶろっくけんしんしすてむ)

- ・ 沖縄市内33か所の検針点及び分岐点にテレメータ装置を設置して、流量及び圧力信号等の情報を定時伝送するシステム。

### ○ パブリックコメント (ぱぶりっくこめんと)

- ・ 公的な機関が規則あるいは命令などの類のものを制定しようとするときに、広く公(=パブリック)に、意見・情報・改善案など(=コメント)を求める手続をいう。  
公的な機関が規則などを定める前に、その影響が及ぶ対象者などの意見を事前に聴取し、その結果を反映させることによって、よりよい行政を目指すものである。

## ひ

### ○ 非常用飲料水袋 (ひじょうよういんりょうすいぶくろ)

- ・ 災害発生時に給水が困難になった場合や湯水時でも、給水タンクや給水栓から迅速に応急給水が行えるように用意されている袋。

## ほ

- 法定耐用年数 (ほうていたいようねんすう)
  - ・ 減価償却資産の耐用年数等に関する省令（昭和40年3月31日大蔵省令第15号）に定められた耐用年数の事を指す。  
地方公営企業法施行規則では、水道管の「法定耐用年数」を40年と定めていますが、必ずしも実際の使用限界とは一致していません。
- ポリエチレン管 (HPPE/PE100管) (ぽりえちれんかん)
  - ・ この項では、PE100の第3世代の高密度ポリエチレン(HPPE)を指す。耐震性・耐久性に優れ、比較的熱に強く、薬品にも強い。柔軟性があり、融着式継手による一体化で漏水の心配がない。  
配水・給水の埋設管、建築物内の配管に用いられる。短期、長期の特製(50年クリーブ強度、短期破壊水圧、引張降伏強さ)に優れる。耐震管材。

## ゆ

- 有効率 (ゆうこうりつ)
  - ・ 有効水量を給水量で除したもの。  
水道施設及び給水装置を通して給水される水量が有効に使用されているかどうかを示す指標であり、有効率の向上は経営上の目標となります。

## ら

- ライフライン (らいふらいん)
  - ・ 主にエネルギー施設、水供給施設、交通施設、情報施設などを指して、生活に必要なインフラ設備を表す言葉。  
現代社会においては、電気・ガス・水道等の公共公益設備や、電話やインターネット等の通信設備、圏内外に各種物品を搬出入する運送や人の移動に用いる鉄道等の物流機関など、都市機能を維持し人々が日常生活を送る上で必須の諸設備のことを指す。

## ろ

- 漏水 (ろうすい)
  - ・ 水道管から水が漏れること。
- 老朽化 (ろうきゅうか)
  - ・ 物理的劣化の事を指す。時間経過や繰り返し使用されることに伴う化学的・物理的変化により、品質や性能が損なわれることを指す。  
本土復帰以降に整備した施設が、古くなったことにより役に立たなくなること。

## 沖縄市水道ビジョン策定委員会及びワーキンググループ委員名簿

### 【基本計画策定委員会】

委員長	部長	仲宗根 弘光
副委員長	次長兼総務課長	屋良 朝次
事務局長	総務課主幹	玉城 勇
委員	料金課長	仲宗根 清
委員	工務課長	宮城 行広
委員	工務課技幹	金城 良昭
委員	管理課長	新里 智昭

### 【ワーキンググループ】

委員	総務課補佐兼総務係長	小山 千奈美
委員	総務課副主幹兼経理係長	仲宗根 繁
◎委員	総務課企画係長	川満 貴紀
委員	料金課補佐兼調定係長	與儀 哲也
委員	料金課収納係長	兼城 トモ子
委員	料金課整理係長	金武 良和
委員	工務課補佐兼給水係長	城間 史雄
委員	工務課副技幹	座喜味 学
委員	工務課配水係長	辰 博志
委員	管理課補佐兼配水係長	中村 厚夫
委員	管理課管理係長	登川 政太

※◎は、ワーキンググループリーダー

事務局	総務課企画係主事	赤嶺 勝磨
-----	----------	-------